

真誠

学校だより
No. 5
西東京市立
田無小学校
令和5年
9月1日

実りの二期(二期)

校長 前田元

【情熱を継承して】

暑い日差しが照りつけ、蝉の音が聞こえています。記録的な猛暑もあり、今年も、ひと際暑い夏になりました。

今から、百五十年前の明治六年八月二十五日に、私たちの田無小学校が設立されました。皆さんご存じのとおり校名は「真誠学舎」です。この名前は、今もこの学校だよりの名称として残っています。辞書で意味を調べると「偽りやごまかしのないこと。またそのさま。」とあります。誠実な人に育ってほしいとの願いが当時から込められていたことが分かります。

初代の校長先生は、刑部真琴先生です。田無小学校が設立された明治六年の八月を遡ることひと月、七月に横浜から招かれたとの記録が残されています。当時、刑部先生は二十二才だったそうです。田無小学校に向かうときの気持ちほどのようなものだったのでしようか。そして、刑部先生を迎える町の人々の気持ちはどのような気持ちだったのでしょうか。当時、学校設立の資金なども民費をもって賄うのを建前としていたそうで、学校設立のために多くの町の人々が尽力した上で、真誠学舎が設立されたことが想像されます。

田無小学校ができる前の年、明治五年に発布された学制には

「邑ニ不学ノ人ナク家ニ不学の人ナカラシメン」

と示されています。教育の力で、田無の町を豊かにしていこうとする人々の思いが田無小学校の設立につながっていることは間違いのないことだと思います。

明治維新直後の日本で、これからの日本の姿を思い描き、そこで活躍する子供たちを育てるべく、多くの人が情熱を注いだからこそ、今、私たちは田無小学校で学ぶことができているのだと思います。

こうした、連続と続く教育への思いを、私たち田無小学校の教職員はしっかりと受け止めて、過ごしていきたいと思っています。そして、百五十年が過ぎた今、タブレット端末を自在に使って学習を進める六年生の姿の中に、百五十年前に学んでいた子供たちと同じような、知的好奇心や学ぶことの面白さを味わわせてあげたいと改めて感じています。

この原稿を書いている日も暑い日です。百五十年前、刑部先生が過ごした夏も同じように暑かったのでしょうか。せめて、子供たちに対する情熱だけは負けたくないと心の中で思った夏の日でした。

【二期のスタートに当たって】

一学期の終業式では、今年も「始業式の日には、全員、元気に登校してください」とお話をしました。学校には、子供たちの元気な笑顔がなくてはなりません。

二期も、笑顔いっぱい学校の生活を過ごしてほしいと願っています。

一方で、東京都全体では、二期をスタートするにあたって、毎年のように子供たちが自分の生命を傷つける痛ましい事故が起こっています。

私は、田無小学校に通う誰一人として、生命を傷つけてほしくありません。困ったときには、子供たちがどの教員にでも相談できるように田無小学校にしていきたいと思っています。

そのために、西東京市では、「西東京あつたか先生」という取り組みを進めています。毎月、教職員でチェック項目を設け、子供たちに対して誠実に対応できているかを確認しています。

とはいえ、すべての子供たちから信用を得るのは簡単なことではありません。だからといって、あきらめるつもりもありません。十分な点があれば改善し、子供たちに負けないように私たちも成長していこうと思います。

保護者、地域の皆様には二期も変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

九月の主な行事予定

29	28	27	26	25	23	22	21	20	19	18	15	14	13	12	11	8	7	6	5	4	1	九月の主な行事予定
金	木	水	火	月	土	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	
赤城移動教室3日目 新一年生対象学校公開週間終	赤城移動教室2日目 遠足予備日(1)	赤城移動教室1日目	歯科衛生指導(3)	クラブ活動 歯科衛生指導(6) 新一年生対象学校公開週間始	秋分の日		遠足(1)	午前授業・校内研究授業		敬老の日	5校時公開・参観保護者会(1・2)	5校時公開・参観保護者会(3・4) 午前授業(わ)		5校時公開 参観保護者会(5・6・わ) 5時間授業(5・6・わ)	委員会活動		避難訓練 2年生木曜5時間始	午前授業 個人面談Cグループ 西東京市スタートアップ期間終	午前授業 個人面談Bグループ	安全指導 午前授業 給食始 在籍校訪問 個人面談Aグループ	始業式 午前授業 西東京市スタートアップ期間始 オンライン・ドリル	

※今月のスクールカウンセラー来校日は 1日、8日、15日、22日、29日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

星空の下のデイスタンス

理科専科 小室 秀幸

「I'm sailing 星座の海を渡る オルフエウスの調べ あなたのため奏でよう 無限の愛を」 この詩は、ジ・アルフィーのある曲の一節です。この歌詞には、こと座のギリシャ神話の一部が使われています。授業中、子供たちは、こと座ができた理由を静かに聴き入っていました。話し終えると、「ほかの星座の神話も知りたい。」「他にどんな星座があるのかな。」「もっと星の名前も覚えたい。」「すっかり星の世界に引き込まれていました。私も思い返せば、そうでした。本やアニメ、歌詞などに出てくる宇宙や星に魅了され、星空を見るだけでロマンを感じているいろいろな想像をしたり調べたりしていました。それは今も続いています。子供たちと一緒に少しでも星について探究できることを楽しみにしています。今しかない貴重な一日一日を有意義に過ごしていきたいと思います。

校内研究 ぼくらの田無

研究主任 藺牟田 雄一

田無小学校では、毎年全教職員が一丸となって児童の学力向上を目指すための校内研究を行っています。「児童の主体性を育む授業の創造」をテーマに、生活科や総合的な学習の時間の授業を研究しています。研究の中心は「田無小学校や地域・田無」です。今年度開校百五十周年を迎える田無小学校や地域のことをもっとよく知ること、子供たちが地域に愛着をもち、自らの生き方をみつめることにつながるだろうと考えています。

また、昨年度より、西東京市においても、市の取り組みとして「ふるさと探究学習」の推進がなされています。児童生徒が街や人とつながり、地域のよさや温かさに触れる。地域に大事にされた子供たちは、地域を大事にする大人へと成長してくれると信じています。今後、地域や保護者の皆様にもご協力をいただくこともあるかと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

わかば学級 秩父宿泊学習

わかば学級担任 保延 恒

一緒に食事をしたので、あなたは私たちの仲間ですー
昔、エチオピア北東部の小さな村でアファル族と食事をした時に、言われた言葉です。日本にも「同じ釜の飯を食べる」という成句がありますが、これは私たちわかば学級においても同様でした。

子供たちは、六月二十九日から一泊二日、秩父方面へ、宿泊学習に行きました。一日目は、宝登山のロープウェイの景色を楽しみ、小動物公園でお猿さんにエサをあげ、宿の温泉に浸かり、夜レクレーションで盛り上がりました。二日目は、自然の博物館を訪ね、メガロドンの復元模型を見て、感動をみんなで分かち合いました。お昼のカレーライスは、ほとんどの児童が完食し、おかわりをしました。わかば学級の子供たちは、二日間寝食を共にし、様々な活動の中で協力して、仲間意識を深めることができました。まさにみんなが「同じ釜の飯を食べた仲間」となった二日間でした。

一人一人の子供に合った支援を目指して

特別支援コーディネーター担当 谷本 絵里奈

「特別支援教育」と聞いてどんなことをイメージされますか？東京都教育委員会のホームページには「幼児・児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。」としています。

西東京市では「西東京市がめざす教育」というパンフレットを配布しています。気持ちのコントロールが苦手、忘れ物が多い、授業についていけないなど、お子さんによって困り感は様々です。お子さんのことで気になることがありましたら、担任にお知らせください。必要に応じて養護教諭、スクールカウンセラー、様々な機関と連携し、お子さん、そしてご家庭を支援していきます。家庭と学校、そして地域が力を合わせ、お子さんの成長をサポートしていかれたらと考えています。